

製品名: HNF1B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82943**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	61.3kDa

抗原情報

遺伝子名	HNF1B
別名	T2D; FJHN; HNF2; LFB3; RCAD; TCF2; HPC11; LF-B3; MODY5; TCF-2; VHNF1; ADTKD3; HNF-1B; HNF1beta; HNF-1-beta
遺伝子 ID	6928.0
SwissProt ID	P35680
免疫原	大腸菌で発現したヒト HNF1B (AA: 23-132) の精製組換え断片。

背景

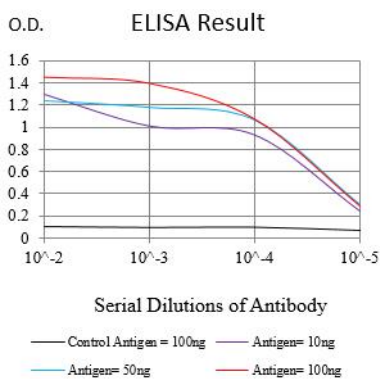
この遺伝子は、ホメオドメイン含有転写因子スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、ホモ二量体、

または関連タンパク質である肝細胞核因子 1 α とのヘテロ二量体として DNA に結合します。この遺伝子はネフロンの発生に機能し、胎児期の腎臓の発生を制御することが示されています。この遺伝子の変異は、腎嚢胞および糖尿病症候群、ならびにインスリン非依存性糖尿病を引き起こし、一部の癌種ではこの遺伝子の発現が変化します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。

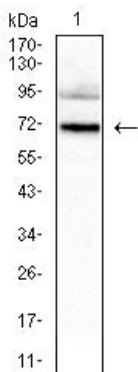
研究分野

-

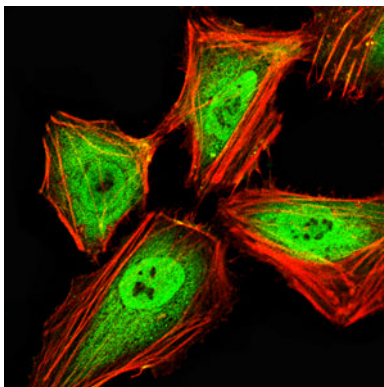
画像データ



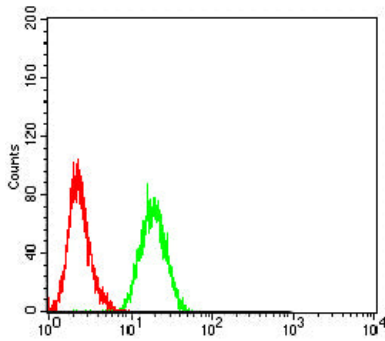
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



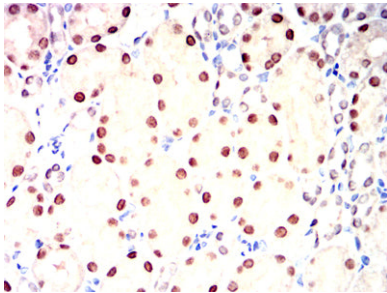
Hela(1)細胞溶解物に対する HNF1B マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



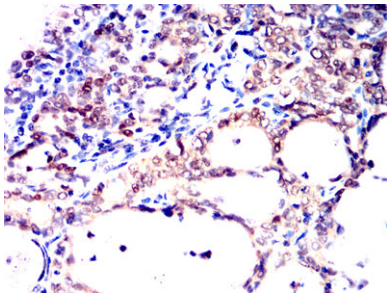
HNF1B マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



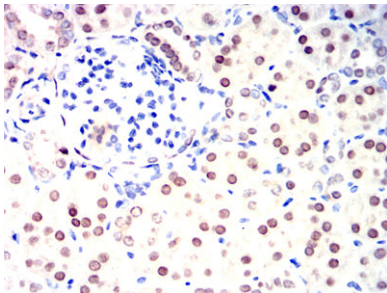
HNF1B マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した PC-3 細胞のフローサイトメトリー分析。



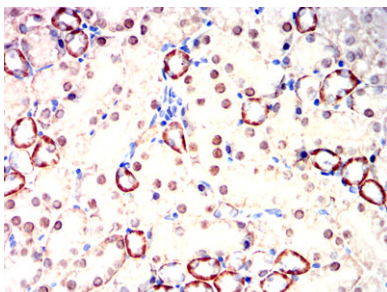
HNF1B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学分析。



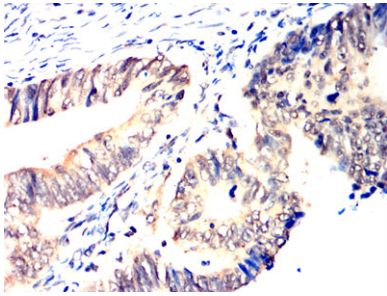
HNF1B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



HNF1B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓組織の免疫組織化学分析。



HNF1B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。



HNF1B マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。